

地域医療の充実誓う

徳島大学医学部の地域

医療を学ぶ学生でつくる

地医輝連と自治医科大学

(栃木県)の県出身学生



「阿波の医療は任せとけ」との大きな掛け声で踊る地医輝連＝市役所前演舞場

の合同連の約50人が14日、校名を書いた高張り

ちようちん
提灯を掲げて市役所前演舞場などに踊り込んだ。

掛け声は「夢は地域の総合医。阿波の医療は任せとけ」「医療の谷間へ灯をともせ」。蜂須賀連のサポートを受け、新調したうちわを手に、元気いっぱい踊った。

吉野川市鴨島町出身の自治医大5年森本潤さん(23)＝栃木県下野市＝は「踊りを通じて徳島の地域医療について話し合える仲間ができた」と言う。

合同連は、へき地の医師不足が深刻な中、将来徳島で地域医療に携わる者同士で交流しようとして今年結成された。(森麻実)